

「とうきょう認知症希望大使」任命予定者

樋口 賢（ひぐち けん）

大田区在住、58歳

空港の保安防災業務に関わっていた54歳の時に若年性アルツハイマー型認知症と診断される。介護施設の清掃職員として再就職した後、現在はデイサービスに通い、昼食の調理や庭の手入れ等を楽しんでいる。

能任 智子（の と ともこ）

昭島市在住、68歳

自治体職員として、約30年にわたり保育園の給食調理業務に関わってきた。66歳の時に認知症と診断された後も、趣味のスポーツや旅行を楽しんでおり、近隣の友人とも変わらず交流を続けている。デイサービスでは洗車やあずま袋製作等に取り組んでいる。

田尾下 久（たおした ひさし）

多摩市在住、79歳

ボイラー技士として、世界各国や全国各地の発電所建設に関わってきた。現在は、多摩市内の認知症当事者の会「みらいの会」で活動しており、認知症の当事者に対して集いへの参加を呼び掛けている。

岩田 美枝（いわた よしえ）

品川区在住、82歳

30年以上にわたって書道塾を経営し、子どもから大人まで指導してきた。グループホームで生活している現在も、月に2回書道教室（※）を開き、子どもたちに教えている。

※書道教室は、新型コロナウイルス感染症の流行中はお休みしている。

長田 米作（おさだ よねさく）

練馬区在住、88歳

紳士服を縫製する職人として、個人商店を営んできた。現在は、練馬区の認知症本人ミーティング（※）に参加し、参加者からの相談にのるなど、交流を楽しんでいる。

※認知症の本人が集い、本人同士が主になって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場のこと。